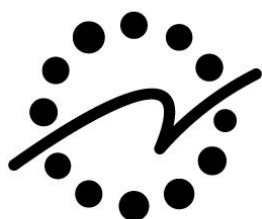


事業報告

2024 年度（2024 年 4 月～2025 年 3 月）



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

事業概要

<2024 年度の内容>

当財団は、設立以来、地域の個性や魅力を高めたり、暮らしをよりよくするための活動、地域や社会の課題解決に自主的に取り組む活動など、市民活動を総合的に支援する組織として、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」、「未来ファンドおうみ」の5本の事業を柱に、取り組みを進めてきたところである。

こうした中、2024 年度は 2020 年 3 月に策定した中期計画（2020年度～2024年度）に基づき、地域や社会の課題解決に自主的に取り組む市民活動団体等の支援や、市民活動団体、自治体、企業等の様々な組織や団体とのネットワークを広げ、協働による地域づくりの支援活動に取り組んだ。

相談業務や各種フォーラム・セミナー等を開催したほか、未来ファンドおうみ事業においては、助成先団体は順調に活動を進められ、ファンド事業に対して寄付金をいただける企業の新規開拓に取り組んだ。

おうみ未来塾においては、新しい運営体制のもと第 17 期生が地域プロデューサーを目指して精力的にグループ活動を展開し、塾生 22 名が卒塾となり、これまでの卒塾生の累計は 383 名となった。

また、現中期計画が 2024 年度までとなっていたことから、次期中期計画（2025 年度～2029 年度）の策定を行った。

2024 年度事業執行状況（報告）

目次

【1】情報提供事業

- （1）情報交流誌「おうみネット」の発行
- （2）インターネットの活用

【2】組織基盤強化事業・市民活動支援事業

- （1）相談業務
- （2）市民活動ふらっとルーム、ワークコーナーの運営
- （3）フォーラム、セミナー等の開催
- （4）講座等の開催
- （5）職員研修事業
- （6）NPO サポート業務
- （7）市民活動支援センターとの連携
- （8）事業評価普及促進事業
- （9）市民活動応援プロジェクト
- （10）その他

【3】人材育成事業

- （1）第 17 期おうみ未来塾
- （2）おうみ未来塾運営委員会
- （3）卒塾生との交流

【4】未来ファンドおうみ事業

1. 助成金事業

- （1）2023 年度助成事業
- （2）2024 年度助成事業
- （3）助成先団体中間相談会・交流会
- （4）2025 年度助成事業
- （5）未来ファンドおうみ運営委員会

2. 寄付金受領

【5】運営、総務

- 1. ガバナンス
- 2. 各種委員会等への参画
- 3. 職員研修、勉強会
- 4. 賛助会員

【1】情報提供事業

- ・情報交流誌「おうみネット」124号は、センターの認知度向上を意図し、「こんにちは。淡海ネットワークセンターです。」と題し、ネットワークセンターの業務についての紹介を行った。125号からは、連載で「多様化する地域貢献」をテーマに県内大学の学生にスポットを当て、文化継承や環境と地域づくりの新しい“カタチ”について特集を組んだ。また、「虫の目・鳥の目・魚の目」と題し、おうみ未来塾17期生の活動を紹介するコーナーや、源氏物語放映を機に、VIVA!日々是好日！として滋賀、近江の文学にまつわるコラムを紹介した。
- ・インターネットの活用においては、2021年度より新しい情報提供ツールとして「Instagram」を開始しており、フォロワー数も伸びている。また、今年度は、未来ファンドおうみ助成金申請募集に際し、Instagram、フェイスブックによるSNS広告を配信し、申請の増加につなげることができた。

（1）情報交流誌「おうみネット」の発行

- 発行回数 年間3回（7月、11月、3月）
- 装丁 A4サイズ8頁
- 発行部数 8,000部/回
- 配布先 県内外の市民活動団体、個人、公共施設、企業など900カ所

①第124号（2024年7月1日発行）

- 特集「こんにちは。淡海ネットワークセンターです。」
 - ・淡海ネットワークセンターの紹介
- 地域で社会貢献（人と地域とつながる事業所さん）
 - 「進化する企業！新たな発想でチャレンジ」
 - ・甲西陸運株式会社
- 市民活動レポート（県内で活躍する市民団体の紹介）
 - ・（寄稿）びわこ環境サークル
 - ・（一社）やす地域共生社会推進協会
 - ・特定非営利活動法人 宅老所心
- 未来塾17期生の虫の目・鳥の目・魚の目（寄稿）
 - リアル版キッズニア作る？子供たちの想像力全面サポート
 - ・おうみ未来塾17期生「子ども未来塾」のみなさん
 - 伊香立からスタート目指すは活気ある滋賀のまちづくり
 - ・おうみ未来塾17期生「たなぼた家」のみなさん
- VIVA!日々是好日！近江で羽ばたく女性たち。

- ・(寄稿) しなやかシニアの会
- 市民活動応援インフォメーション

②第 125 号 (2024 年 11 月 1 日発行)

- 特集「多様化する地域貢献・文化継承の新しい“カタチ”前編」
インタビュー：滋賀短期大学・成安造形大学
- 地域で社会貢献（人と地域とつながる事業所さん）
「参加する」から「賛同者を増やす」に
・株式会社 JINEN
- 市民活動レポート（県内で活躍する市民団体の紹介）
・(寄稿)子どものノリシロ
・近江歴史回廊倶楽部
・近江の竹となかまたち
- 未来塾 17 期生の虫の目・鳥の目・魚の目（寄稿）
豊かな地域の魅力を秋からも満喫！
・おうみ未来塾 17 期生「おうみ × ツーリズム」のみなさん
びわ湖愛は、秋になっても終わらない!熱く活動しています。
・おうみ未来塾 17 期生「翔んでびわ湖」のみなさん
- VIVA!日々是好日！ 紫式部の歌と近江路
・(寄稿) しなやかシニアの会
- 市民活動応援インフォメーション

③第 126 号 (2025 年 3 月 1 日発行)

- 特集「多様化する地域貢献・環境と地域づくりの新しい“カタチ”後編」
インタビュー：滋賀大学 滋賀県立大学
- 地域で社会貢献（人と地域とつながる事業所さん）
ツバメが作る巣のようにゆっくりと時間をかけて、
誰もが集う地域のアンテナに！
・株式会社アイズケア
- 市民活動レポート（県内で活躍する市民団体の紹介）
・(寄稿)ははこ
・特定非営利活動法人 HIEIZAN
Sports&Culture club ICHIGU 一隅クラブ
・ボランティア団体 布絵本「さえずり」

- 未来塾 17 期生の虫の目・鳥の目・魚の目 （寄稿）
地域プロデューサーが育った！おうみ未来塾
運営委員長 藤田 知丈 様
- VIVA! 日々是好日！ Vol.3 近江の歴史に思いを馳せて
・（寄稿）しなやかシニアの会
- 市民活動応援インフォメーション

（２）インターネットの活用

①ホームページ

- アクセス数 30,103 件（前年 33,273 件）
- ページビュー数 67,352 件（前年 76,726 件）

②メールマガジン「おうみネット e マガジン」

- 登録読者数 855 件 （前年 866 件）
- 配信回数（735 号～758 号） 24 回（前年 36 回）

③Instagram 随時投稿 フォロワー数 446 名（前年 343 名）

④フェイスブック 随時投稿

⑤SNS 広告 配信 1 回

【２】組織基盤強化事業・市民活動支援事業

- ・ 相談においては、前年同期と比べて 9 件の増加となっている。電話・Eメールによる相談はほぼ横ばいであるが、(72 件→71 件)、来室による相談が増加した。(17 件→27 件)。
- ・ ふらっとルームの利用者は前年より減少している。(983 人→786 人)
- ・ ふらっとルーム内に「おうみ良うなる！元気商品プロジェクト」の寄付付き商品展示コーナーを開設するなど、ふらっとルームの有効活用に取り組んだ。
- ・ 市民活動フォーラムについては、今回ピアザ淡海 3 階大会議室において、県内市民活動団体や企業等の活動紹介や情報交換を深めることを目的に開催した。

（１）相談業務

①相談

相談件数 98 件（前年同期 89 件）

②県庁出張相談 （6 月に 4 回） ※2023 年度は 6 月に 6 回実施

定款変更 0 件（前年 1 件）
窓口相談・事業報告等受付 70 件（前年 95 件）

(2) 市民活動ふらっとルーム、ワークコーナーの運営

ふらっとルーム利用者数 786 人（前年同期 983 人）

ワークコーナー利用者数 127 人（前年同期 132 人）

■「元気商品プロジェクト展示コーナー」

未来ファンドおうみ おうみ良うなる!元気商品プロジェクト(寄付つき商品)
の商品展示コーナーを昨年度に引き続き開設した。現在 8 商品を展示中

■フードドライブ専用ボックス

フードドライブに取り組む NPO 法人 CAZN 様より預かり、設置

■クッキー等置き菓子コーナーの設置

NPO 法人あめんどさんの利用者が製造されたクッキー等の菓子コーナーを設置

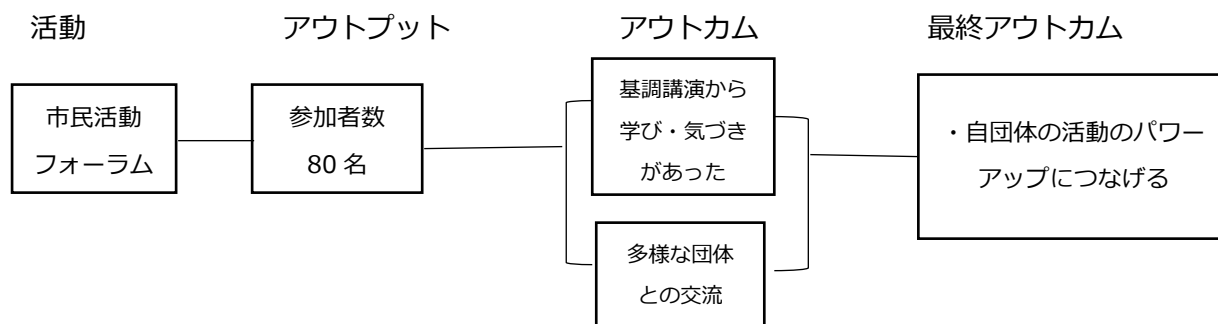
(3) フォーラム、セミナー等の開催

①市民活動フォーラム 2024

<写真 1～2>

- 主催 淡海ネットワークセンター
- テーマ 「世代を超えたまちづくりに必要なこと」
- 開催日 2024 年 12 月 8 日（土）13:00～16:30
- 開催場所 ピアザ淡海 3 階 大会議室
- 内容
 - 第 1 部 「基調講演」
 - ・北川 雄士さん 株式会社いろあわせ
 - 第 2 部 「団体活動紹介」
- 参加者 80 名
- 出展ブース団体 18 団体
- 出展パネル団体 13 団体
- 事業の提供価値

滋賀県の NPO、市民活動団体、行政、企業等の交流やネットワークづくり、情報交換を深めることを目的とする。また、活動団体だけでなく地域活動や市民活動に関心のある一般の県民にも気軽に参加し滋賀県における市民活動を身近に感じてもらう機会とする。



●主な KPI（指標抽出項目）

- ・参加者数
- ・参加者アンケート回答者数（27 名／80 名）
- ・アンケートによる意見

●参加者の満足度（アンケート結果）

- ・フォーラムでの学び 5 点満点 平均 4.1 (n=27)
- ・フォーラム全体の満足度 5 点満点 平均 4.1 (n=27)
- ・他団体との交流 5 点満点 平均 4.2 (n=27)

●参加者アンケート（抜粋）

- ・基調講演は、大変興味深いお話で、楽しく有意義に聞かせていただいた。
自分たちの活動、運営にも共通するお話もあり、活かせるところもあると感じた。
- ・あまり関わりのない団体とも交流ができ、新しい次の機会につながる期待を持つことができた。
- ・自団体の宣伝、更に出展団体との交流が十分にでき、とてもよい機会となった。時間もたっぷりあり、自団体のブースに地域の方や他の出展団体の方が来られ、話を聞いていただき、ここで生まれた交流から今後に繋がれば良いと思う。
- ・今回参加されていた多くの団体さんが年齢層の高い人である中、基調講演では若い人の気持ちの理解を深める内容で、若い自分としてはその通りだと感じた。若い団体を運営している自分としては他の人がどう感じているかを学ぶことが出来、自団体の運営の参考にしようと思った。

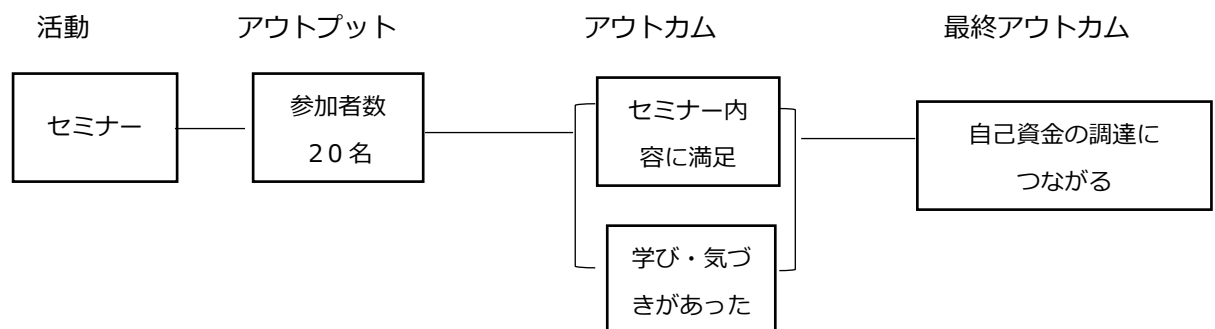
●振り返りポイント

- ・第 1 部の基調講演のテーマである「若者に地域の担い手になってもらうためには、どうしたらいいのか？」という問いに対して、関心のある方が世代を問わず多くいて参加者も含めて考える機会が出来たことは、大きな学びであった。参加者からも基調講演が良かったという感想を多くいただいた。
- ・第 2 部では、出展ブースを通じて異分野の交流ができて良かった、今後の活動のヒントになった、モチベーションが上がったとの感想もあり活動団体同士の交流は、出来たように思う。

- ・団体のステージ発表と出展ブースを同時進行にしたため、ステージ発表の聴衆が少なくなった。今後は工夫がいる。

②ファンドレイジングセミナー

- テーマ 「自己資金、どう作る？」～やりたい、やってみたいを継続させるために～
- 開催日/会場 2024年9月4日(水) 県民交流センター204 会議室
- 講師 片山 良人さん(株式会社ホモ・サピエンス代表)
岩原 勇氣さん(NPO 法人 BRAH=ART.理事長)
- 内容
 - ・活動が続けるなかで大きな壁になるのが「資金問題」。継続するために大切な「自己資金」の作り方、考え方を任意団体、NPO 法人の運営など経験豊富な講師から学ぶ。
- ・参加者 20 名



- 主な KPI (指標抽出項目)
 - ・参加者数
 - ・参加者アンケート回答者数 (16 名/20 名)
 - ・アンケートによる意見
- 参加者の満足度・学び (n=16)
 - ・参加者満足度 5 点満点 平均 4.6
 - ・参加者の学び 5 点満点 平均 4.6
- 参加者アンケート (抜粋)
 - ・サポートしていく側として、講師がお話された「仲間づくり」という所から自のできる最大限の力を使って今後もこのような学びの場で学びを深めて成長していきたいと思った。
 - ・資金調達にはまず信頼が必要だということ。時間もかかるし、じっくり取り組む姿勢。人と会うことの価値と先ずは自分から「Give」。
 - ・資金調達の方法が具体例とともにリアルに教えていただき、大変学びになった。
 - ・NPO 法人のリアルな話が聞けてよかった。

③ふらっとサロン

<写真 3>

※淡海ネットワークセンターふらっとルームで開催

- 第1回 フードドライブを知ろう ～誰でもできる、いつでもできるボランティア～

- ・日 時 2024年7月30日(火)
- ・講 師 谷口久美子さん(NPO 法人 CASN 理事長)
- ・参加者は食品ひとつ持ち寄り、フードドライブを体験
- ・参加者 12名

■アンケート結果

参加者満足度 4.8(5点満点)

参加者アンケート(抜粋)

- ・具体的なお話が聞けた。
- ・子ども・大人の様々な問題を知ることができ勉強になった。

- 第2回 終活を考える～これからの暮らしを豊かに楽しむために～
(エンディングノート入門編)

- ・日 時 2024年10月9日(水)
- ・講 師 井上由美さん・島田裕輝さん(大津市社会福祉協議会)
- ・エンディングノートの活用を通して、終活を考える「きっかけ」を得る
- ・参加者 14名

■アンケート結果

参加者満足度 4.7(5点満点)

参加者アンケート(抜粋)

- ・エンディングを考えることで、どのように人生を送っていくかをより深く考えることができた。
- ・若い世代にも必要な学びではないかと思った。

(4) 講座等の開催

NPO・市民団体のための決算講座

<写真 4>

- 内容 決算のための実務・決算書類の理解と活用

○講師 江波 千佳さん(江波千佳税理士事務所 税理士)

- 開催日/場所

2025年1月22日(水) 13:30~16:00

県民交流センター(ピアザ淡海)204 会議室

- 参加者 9名

■アンケート結果（n = 9）

参加者満足度 4.4（5点満点）

■振り返りポイント

参加者からは、わかりやすく参考になったとの感想が聞かれ、基礎的な会計全般の講座へのニーズが高いことがわかった。一方で団体ごとの個別の課題があり、そうした課題への対応も必要である。また、税務に関する講座を希望する声も多く聞かれた。

（５）職員研修事業

課題解決型協働推進セミナー

<写真5>

- 開催日/場所 2025年1月31日（金曜日）13:30~16:00 207会議室
- 主催 淡海ネットワークセンター（共催 滋賀県）
- 趣旨 多様な主体による地域課題に解決に向けた取り組みの中で、それぞれの立場や意義の相違から生じる問題をどのように捉え乗り越えて成功に導くのか、課題共有から解決に至るポイント、協働の効果について学ぶ取る。
- テーマ [複眼的に見た「協働」のあり方から実践につなぐ]
- 内容
 - ・講義
 - ・事例発表
 - ・グループワーク
- 講師 龍谷大学社会学部 特任教授 山口 浩次さん
- 事例発表 「福祉介護・共同送迎サービス『ゴイッショ』」
野洲市役所高齢福祉課 山浦 文乃さん
ダイハツ工業株式会社コーポレート統括本部 中野 公輔さん
一般社団法人やす地域共生社会推進協会 理事長 川口 ひとみさん
- 参加者の満足度 <参加者 31名>
 - ・参加者属性（行政11名、中間支援組織2名、社協5名、福祉関係6名、
NPO・市民団体 他7名）
 - ・参加者アンケート回答者数（20名／31名）
 - ・アンケート結果
 - 講義理解度 5点満点 平均 4.7
 - 事例説明は参考になったか 5点満点 平均 4.6
 - セミナー満足度 5点満点 平均 4.6
- 振り返りポイント
今回は、一つの課題テーマについて三方から取り組んだ事例発表をもとに、成功に導くポイントや協働の手法を習得し実践につなげることを目的に、福祉歴32年の「福祉のスペシ

ヤリスト”であり龍谷大学特任教授として活躍される山口さんにコーディネート頂いた。
特に、地元野洲市での“顔が見える距離”の事例であり、「学び」だけでなく「学び」を活かした現場実践につなげたいとの狙いもあった。
参加者からは「課題の内容は違えども、向き合い方は共有できるものが多かった」との意見や「異業種交流ができてよかった」との声も多かった。今後も情報交換や新たなネットワークの場となるようなセミナーとしていきたい。

(6) NPO サポート業務

未来ファンドおうみ 2024 年度助成採択団体を主たる対象として、それら団体の活動支援等のため、職員が活動現場等を訪問あるいは面談してサポートを行った。

●団体、事業数 14 団体 ●訪問・面談回数 延べ 22 回 <写真 6~8>

団 体 名	訪問・面談回数
チームエンパワメント	3
ういんどあんさんぶる樂樂	1
NPO 法人琵琶故知新	2
神田山を守り育てる会	1
特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会	3
びわこ環境サークル	2
ははこ	1
子どものリシロ	1
特定非営利活動法人米原市多文化共生協会	2
特定非営利活動法人 NPO 子どもネットワークセンター天気村	2
鳩の会	1
風のかけたる	1
木たまご東近江	1
特東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会	1

(7) 市民活動支援センターとの連携

●第 1 回市民活動支援センター意見交換会 <写真 9>

■開催日/場所 2024 年 6 月 20 日（木） 県民交流センター207 会議室

■内容 「自己紹介ワーク」

「グループディスカッション」

- ・ 中間支援組織としての自団体の役割
- ・ 自団体の課題の共有

■参加者 18 団体 29 名

■参加者の満足度

- ・参加者アンケート回答者数（20名／アンケート対象者25名）
- ・アンケート結果

○自己紹介ワーク 5点満点 平均 4.5

○グループディスカッション 5点満点 平均 4.5

■振り返りのポイント

中間支援組織の課題として「市職員の異動はじめ中間支援のスタッフが短期で交代するためノウハウが継承されない」との声が複数あり、意見交換会が新人研修など基礎的な内容の学びの機会やレベルアップを図れる場にしていきたい。

●第2回市民活動支援センター意見交換会

■開催日/場所 2024年10月22日（火）キラリエ草津501会議室

■内容 「県内で活用できる助成金について」

（まちづくりスポット大津 遠藤さん）

「滋賀県共同募金会 助成事業」の紹介

・滋賀の町をよくするしくみ

・ネットde押し活プロジェクト

（滋賀県共同募金会 榎森さん）

「おうみ社会貢献賞」の紹介

（滋賀県市町村振興協会 宮川さん）

・グループごとに意見交換

■参加者 15団体 23名

●中間支援組織スキルアップ研修会

■開催日/場所 2024年11月21日（木）県民交流センター204会議室

■内容 コミュニティコーピング

コミュニティコーピング認定ファシリテーター

・一般社団法人コレカラ・サポート

中土 翔太さん、山本 幹太郎さん、西野 日菜さん

・公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

中村 志希さん

■参加者 11団体 12名

■参加者の満足度

- ・参加者アンケート回答者数（8名／12名）

- ・アンケート結果

○新たな気づきや学びはあったのか 5点満点 平均 4.5

■振り返りポイント

今後の業務に活かせるような点について、「人とのつながりの大切さを再確認した」「何が必要で足りていないのか、複雑な現実をシンプルに俯瞰的に考える力、聞く力を養いたい」などの意見があり、「コミュニティコーピング」の意図する内容は伝わっていたと感じた。

●第3回市民活動支援センター意見交換会

■開催日/場所 2025年2月18日(火) 甲賀市まちづくり活動センター

■内容「事例紹介」

- ・特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会 藤井忠夫氏
 - ・山内自治振興会 井上和美地域支援員
- 「グループワーク」中間支援組織、職員として考えること

■参加者 10団体 15名

●淡海ネットワークセンターに関するアンケート調査

■対象 滋賀県市民活動支援センター 13団体

■実施日 2024年7月13日(土)

■実施方法 メール

(8) 事業評価普及促進事業

●ういんどあんさんぶる樂樂と共に事業評価に取り組む

市民吹奏楽団「ういんどあんさんぶる樂樂」は、設立5年目を迎えたが課題も見え始めた。そこで、活動を洗い出し皆で共有し、何ができるかなど検討するなかで体制の見直し等を図り持続可能な活動を目指そうと「組織基盤強化」のための事業評価に取り組む。

■第1回ワークショップ 2024年7月28日(日)

■メンバー ういんどあんさんぶる樂樂運営委員、事務局・辻

■内 容

- ・事業評価の目的を決める。
- ・ういんどあんさんぶる樂樂の見える化（付箋に書き出す→分類→ふりかえり）

■第2回ワークショップ 2024年8月12日(月)

■メンバー ういんどあんさんぶる樂樂楽団員約20名、事務局・北川、辻

■内 容

- ・団員によるういんどあんさんぶる樂樂の見える化
(付箋に書き出す→分類→ふりかえり)

■第3回ワークショップ 2024年10月14日(月)

■メンバー ういんどあんさんぶる樂樂運営委員、事務局・辻

■内 容

- ・ういんどあんさんぶる樂樂運営委員によるロジックモデルの作成①

■第4回ワークショップ 2024年11月9日(土)

■メンバー ういんどあんさんぶる樂樂運営委員、事務局・南局長、辻

■内 容

- ・ういんどあんさんぶる樂樂運営委員によるロジックモデルの作成②

■2024年1月18日 ういんどあんさんぶる樂樂内でのアンケート集計結果報告

※今後、団員でのロジックモデルを作成し団体の「組織基盤強化」を明確なものとする。

(9) 市民活動応援プロジェクト

<写真 10>

●課題をジブンゴトに“feel→do!”(フィールド)を体験してみよう

■開催日/会場 2024年11月28日(木) 県民交流センター204 会議室

■ファシリテーター 則武 麻里さん

(「立命館大学 BKC リサーチオフィス職員

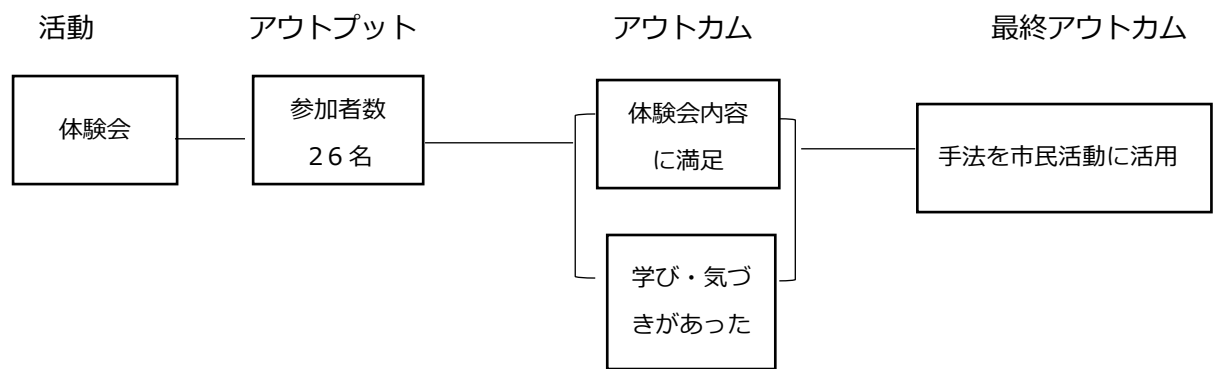
まちのジブンゴト“feel→do!”プロジェクトマネージャー)

■プレゼンター NPO 法人 Since 代表理事 麻生知宏さん

未来塾 17 期たなぼた家代表 青木清美さん

■内 容 立命館大学の職員が主となって学生と地域をつなげようとスタートした「まちのジブンゴト“feel→do!”(フィールド)」は、高速プレストレーミングで地域課題についてアイデアをだしていくもの。この手法(高速プレストレーミング)を通して、「市民活動」の広がりや底上げにつなげる。

■参加者 26 名



●主な KPI（指標抽出項目）

- ・参加者数 26 名
- ・参加者アンケート回答者数（19 名／26 名）
- ・アンケートによる意見

●参加者の満足度・学び（n=19）

- ・参加者満足度 5 点満点 平均 4.7
- ・参加者の学び 5 点満点 平均 5.0

●参加者アンケート（抜粋）

- ・フィールドは、地域の課題を自分ごととして考えるきっかけになるよい取り組みだと思った。学生や若者には今後の未来を考え、課題を自分事にする貴重な経験になるのと思う。
- ・アイデア出しの部分は他の参加者の様々なアイデアを聞く中で一人では考えつかないアイデアが浮かび、自然な形で自分事として課題をとらえる事ができた。
- ・課題を共有して自からの問題として考え、立場や年齢を超えて制約を取り払ってアイデアを出すことで、活動を応援し自ら参加する。市民活動の原点を改めて学ぶことができた。

（10）その他

①企業連携・マッチング事業

イ) 「NPO 法人あめんど」さんが作業所でクッキーづくりが出来るようになった。センターにて、置き菓子として販売するとともに、げんさんフード(株)にて販売依頼をマッチング。「げんさん谷口社長」より商品表示内容の助言を受け、改善後販売予定。

ロ) 「NPO 法人天気村」の今年度助成申請事業の「あっぱれ!大会」において、寄付者の元三フードに来賓の依頼をしたい。とのことで、寄付者と助成団体をつなぐ。

ハ) 今年度助成申請先「ははこ」が主催する「おっぱい塾」(乳幼児の悩み相談)の参加者をもう少し増やしたいが、広報がなかなか及ばないとの事で、同じ甲賀市・まる一むで活動する「ママパスポートこうか」の田中さんを紹介する。

二) 発達障害のグレーゾーンにいる子どもとその母親のための会「コノビル」より運営の

相談をうけるなかで、地域で活動する「いちあわあ」さんを紹介し、いちあわあの松清さんから、センターにも入って欲しいと依頼を受けつなぐ。今後はセンターも入りながら、また2団体の共通のお知り合いである「オオサキ発達ラボ」も途中加わり、それぞれに、また3団体が一緒に活動することも視野に入れ、センターもお手伝いをしていくことになった。

ホ) 滋賀短期大学教授に、財団にて実施している「フードドライブの現状について知ろう」の出前講座を提案。

大学側から、来期からの新たな取り組みである「地域貢献演習」の授業の一環として取り組みを検討するとの回答をいただく。

ヘ) 大津ヴェルツブルク奏楽会の金子瑞穂氏より、来年度「和歌を詠む」イベントを企画し、湖上から比叡山や近江神宮等を眺め、歌を詠む企画をしたが、船会社の交渉ルートを持っていないのでどうしたらよいかと相談を受ける。以前135周年記念で財団にご寄付いただいた琵琶湖汽船の林総務課長と元気商品プロジェクト参画企業である壱兵衛造船所の仲野常務を紹介する。両社とも好意的に対応していただき、船舶の空きの都合もあり、琵琶湖汽船に9月6日のイベント開催で船を手配いただけたとのこと。

ト) センターふらっとルームを日頃から利用されている「京都タオル帽子の会」さんに、12月の「市民活動フォーラム」への出展を依頼する。
フォーラムでは、ブースに立ち寄った方のご家族が、「大津市民病院で実際に作成した帽子を使用してくださったとの話を聞くことが出来た。」と喜んでいただくこととなった。これまで、大津市民病院にタオル帽子を寄贈してきたが、その後、患者さんが、どのように使用されているのか分からなかったため、実際に使用していたご家族からの体験を聞いて活動の励みとなったとのこと。

チ) 課題解決型協働推進セミナーでは、福祉介護・共同送迎サービス『ゴイッショ』の協働事例をテーマとした。福祉施設で抱える「共同輸送」について学びたいと参加された東近江市の真寿会様が、事例発表者のダイハツ工業株式会社に相談を持ち掛けられ、後日、「ゴイッショ」のサービスについての説明会を実施するに至った。

【3】人材育成事業（おうみ未来塾）

- ・ 第17期生2年目のグループ活動を実施し、塾生22名が卒塾した。
- ・ 卒塾生とのネットワークづくりを具体的に進めるため、卒塾生数名に世話人・協力者を依頼し、卒塾生によるイベントの企画や、現塾生と卒塾生との連携の強化に取り組んだ。

(1) 第17期おうみ未来塾 期間：2023年9月～2024年12月（1年4ヶ月）

■前期コース（フィールドワーク）

期間：2023年9月～12月（4ヶ月）

講座：本講座 5回

サブ講座 5回

塾生会 7回

■後期コース（グループ活動）

期間：2024年1月～2024年12月（12ヶ月）

・2月6日(火)8日(木) グループ活動相談会（オンライン）

・2月24日(土) グループ活動目標発表会

・4月16日(火)17日(水) グループ活動サポートの会（オンライン）

・6月1日(土) 相談会

・6月29日(土) グループ活動中間報告会

<写真 11>

・9月28日(土) 相談会

・12月21日(土) グループ活動成果発表会・卒塾式

<写真 12～13>

■卒塾生 22名（入塾生 26名）

<グループ活動>

① グループ名 「おうみ子ども未来塾」、人数5名

活動地域 草津市

テーマ 地域の小さなキッズニア

② グループ名 「たなぼた家 TANABOTA__KE」、人数6名

活動地域 大津市伊香立学区

テーマ つながる ひろがる ながれをつくる 地域のお宝さがし隊

③ グループ名 「おうみ × ツーリズム」、人数5名

活動地域 長浜市・草津市

テーマ 埋もれた自然と歴史文化資源を活かしたツーリズム「サスティナブルツーリズム」

④ グループ名 「翔んでびわ湖」、6名

活動地域 滋賀県全域

テーマ 大人“のためのびわ湖エコスクールを作ろう！

(2) おうみ未来塾運営委員会

●運営委員

・藤田 知丈 暮らシフト研究所 代表

- ・根木山 恒平 NPO 法人碧いびわ湖 常務理事
- ・大河原 佳子 一般社団法人甲賀市国際交流協会 事務局長
- ・木田 桃子 暮らし育て組 副代表(～2024 年 12 月)
- ・中島 みちる 子民家エトコロ代表 (2025 年 1 月～)
- ・山本 泰裕 ji-mo design 代表

●開催日/場所

- ・第 1 回 2024 年 6 月 29 日(土) ふらっとルーム
- ・第 2 回 2024 年 12 月 21 日(土) ふらっとルーム
- ・第 3 回 2025 年 1 月 29 日(水) ふらっとルーム

●卒塾認定会議

- ・開催日/場所 2024 年 12 月 12 日(木) オンライン

(3) 卒塾生との交流

- ・第 1 回 2024 年 9 月 10 日(火)「卒塾生ネットワーク世話人会」
会場：ふらっとルーム 参加者：4 名
- ・第 2 回 2024 年 10 月 10 日(木)「卒塾生ネットワーク世話人会」
会場：ふらっとルーム 参加者：4 名
- ・第 3 回 2024 年 11 月 7 日(木)「卒塾生ネットワーク会議」
会場：ふらっとルーム・オンライン 参加者：9 名
- ・第 4 回 2025 年 1 月 9 日(木)「卒塾生ネットワーク会議」
会場：ふらっとルーム・オンライン 参加者：11 名
- ・第 5 回 2025 年 3 月 4 日(火)「卒塾生ネットワーク会議」
会場：ふらっとルーム・オンライン 参加者：7 名
- ・2025 年 3 月 15 日 (土)「おうみ未来塾 卒塾生の会」開催
会場：キラリ工草津 401 会議室 参加者： 38 名

<写真 14>

【4】未来ファンドおうみ事業

- ・2024 年度助成事業においては、どの団体も概ね順調に活動が行われた。
- ・2025 年度助成事業からびわこ市民応援基金の中に若者応援事業を創設した。
- ・企業訪問等により、寄付に賛同いただける企業の新規開拓に取り組んだ。

1 助成金事業

(1) 2023 年度助成事業

●助成先団体成果発表会の開催

<写真 15>

- 開催日/場所 2024 年 5 月 18 日(日)ピアザ淡海(県民交流センター会議室)

■発表団体数/事業数 19 団体/19 事業 助成決定額 3,059,000 円

＜びわこ市民活動応援基金（地域活性化事業）＞ 4 団体 859,000 円

ぼてじゃこトラスト

ういんどあんさんぶる樂楽

特定非営利活動法人米原市多文化共生協会

＜びわ湖の日基金＞ 3 団体 700,000 円

海をつくる会

山門水源の森を次世代に引き継ぐ会

神田山を守り育てる会

＜積水化成品基金＞ 1 団体 200,000 円

特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会

＜笑顔あふれるコープしが基金＞ 3 団体 300,000 円

ぱらでいろ

いちあわあ

東近江国際交流協会

＜ナカザワ NEO フレンドシップ基金＞ 1 団体 100,000 円

特定非営利活動法人 コレジオ・サンタナ

＜げんさん食育 NPO 基金＞ 3 団体 300,000 円

特定非営利活動法人 NPO 子どもネットワークセンター天気村

特定非営利活動法人あめんど

特定非営利活動法人滋賀自閉症研修会たんぽぽ

＜湖国文学活動応援むらさき基金＞ 2 団体 200,000 円

鳩の会

風のかけたる

＜びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金＞ 2 団体 400,000 円

一般社団法人このゆびとまれ

東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会

（２）2024 年度助成事業

●助成する基金の種類 8 基金

- ・びわこ市民活動応援基金
- ・びわ湖の日基金
- ・積水化成品基金
- ・笑顔あふれるコープしが基金

- ・ナカザワ NEO フレンドシップ基金
- ・げんさん食育 NPO 基金
- ・湖国文学活動応援むらさき基金
- ・びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金

●募集活動

- 募集期間 2023 年 11 月 10 日～2024 年 1 月 12 日（64 日間）
- 説明会 5 回（11/21 米原、11/22 大津、11/26 大津、11/26 高島、11/28 水口）

●審査

- 一次審査（書類審査） 2024 年 2 月 10 日（土）
- 二次審査（プレゼン） 2024 年 3 月 3 日（日）

- 採択団体数/事業数 14 団体/14 事業 助成決定額 2,400,000 円

<びわこ市民活動応援基金（地域活性化事業）> 3 団体/3 事業 助成決定額 900,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
チームエンパワーメント【新規】	インクルーシブシネマ～障がい児、家族で映画館に行こう！～	彦根市	300,000
ういんどあんさんぶる楽楽【継続 2】	身近な場で吹奏楽を聴いて・参加して楽しむ機会を創出！	大津市	300,000
特定非営利活動法人琵琶故知新【新規】	地理情報システムを活用した琵琶湖環境保全活動の見える化	大津市	300,000

<びわ湖の日基金> 1 団体/1 事業 助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
神田山を守り育てる会【継続 2】	里山神田山をみんなの力で魅力ある地域資源として守り育てる事業	長浜市	200,000

<積水化成品基金> 1 団体/1 事業 助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人甲賀の環境・里山元気会【継続 2】	皆んなで楽しもう！里山元気会 20 周年記念『音楽祭』	甲賀市	200,000

<笑顔あふれるコープしが基金>**3 団体/3 事業****助成決定額****300,000 円**

団体名	事業名	地域	助成決定額
びわこ環境サークル 【新規】	未来の自然エネルギーの燃料電池、温度差発電、振動発電を体験しよう！	大津町	100,000
ははこ 【新規】	ママが笑って子育てサポート	甲賀市	100,000
こどものノリシロ 【新規】	ヒゲじいの親子でワクワク自然とあそぼう！	東近江市	100,000

<ナカザワ NEO フレンドシップ基金>**1 団体/ 1 事業****助成決定額****100,000 円**

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人 米原市多文化共生協会 【再】	みんなが集まる「みんなの食堂・みんなの農業」	米原市	100,000

<げんさん食育 NPO 基金>**1 団体/1 事業****助成決定額****100,000 円**

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人 NPO 子どもネットワーク クセンター天気村 【継続 2】	食育から共育ちでつくる「仲間づくり」と「ふるさとづくり」	草津市	100,000

<湖国文学活動応援むらさき基金>**2 団体/2 事業****助成決定額****200,000 円**

団体名	事業名	地域	助成決定額
鳩の会 【継続 2】	日野俳句を次世代に伝え、日野の活性化につなげたい	日野町	100,000
風のかけたる 【継続 2】	聞き書きでつなぐ山中町の過去・現在・未来	大津市	100,000

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①>**1 団体/ 1 事業****助成決定額****100,000 円**

団体名	事業名	地域	助成決定額
木たまご東近江 【新規】	滋賀県内産の未利用木材を利用した木たまご玩具の展開	東近江市	100,000

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②> 1団体/1事業 助成決定額 300,000円

団体名	事業名	地域	助成決定額
東近江市あらゆる場 面で木を使う推進協 議会 【継続 5】	100年の森づくりビジョン 東近江市・あらゆる 場面で木を使うプロジェクト	東近江市	300,000

(3) 助成先団体中間相談会・交流会

<写真 16>

- 開催日/場所 2024年10月5日(土) ピアザ淡海(県民交流センター会議室)
- 講師 平岡 俊一氏 (滋賀県立大学環境科学部准教授)
- 参加団体数 14団体 16人

(4) 2025年度助成事業

●助成する基金の種類 8基金

- ・びわこ市民活動応援基金
- ・びわ湖の日基金
- ・積水化成品基金
- ・笑顔あふれるコープしが基金
- ・ナカザワ NEO フレンドシップ基金
- ・げんさん食育 NPO 基金
- ・湖国文学活動応援むらさき基金
- ・びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金

●募集活動

- 募集期間 2024年11月8日(金)～2025年1月10日(金)(64日間)
- 説明会 5回(11/16 大津、11/20 米原、11/22 甲賀、11/26 長浜、11/29 大津)

●審査

- 一次審査(書類審査) 2025年2月8日(土)
- 二次審査(プレゼン) 2025年3月8日(土)

●審査委員

(運営委員)

- ・平岡俊一 滋賀県立大学環境科学部准教授 (委員長)
- ・大平正道 地域づくりアドバイザー
- ・南圭子 淡海ネットワークセンター事務局長

- ・遠藤恵子 特定非営利活動法人まちづくりスポット大津 理事
- ・岡田啓子 おうみ未来塾 9 期生
- ・福井久美子 認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス 副理事長

<くびわこ市民活動応援基金（地域活性化事業）> 4 団体/4 事業 助成決定額 1,060,000 円

＜くびわこ市民活動応援基金（若者応援事業）＞ 2 団体/2 事業 助成決定額 210,000 円

＜びわ湖の日基金＞	2 団体/2 事業	助成決定額	577,000 円
-----------	-----------	-------	-----------

24

<積水化成品基金>

1 団体/1 事業 助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気 会 【継続 3】	山をきれいにして里山を好きになろう！	甲賀市	200,000

<笑顔あふれるコープしが基金>

3 団体/3 事業 助成決定額 300,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
湖城が丘サロン 【新規】	地域高齢者の集い、交流を支援する湖城が丘 サロン	大津市	100,000
Hachimom 【新規】	産後親子に安心を生む出すためのベビーシャ ワーと産前クラス	近江八幡 市	100,000
ままとものわ -Moms without Borders- 【新規】	外国にルーツのある家族と日本人家族の交流 会	大津市	100,000

<ナカザワ NEO フレンドシップ基金>

1 団体/ 1 事業 助成決定額 100,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
もりやまこども日本語 学習クラブ	日本語指導が必要な外国にルーツを持つ こども達の学習支援事業	守山市	100,000

<げんさん食育 NPO 基金>

2 団体/2 事業 助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人あ めんど 【再】	僕らが主役の課外授業 ～次世代に引き継ぐ食文化～	大津市	100,000
一般社団法人このゆび とまれ 【新規】	障がいのある方が「食」を通して地域貢献で きる環境づくり	高島市	100,000

<湖国文学活動応援むらさき基金>

2 団体/2 事業 助成決定額 200,000 円

団体名	事業名	地域	助成決定額
特定非営利活動法人地域で創 る土曜日夢の学習【新規】	本に親しみ読書を推進するための夢の学習 布絵本研究会	甲賀市	100,000
音楽劇団 Ryu 陣 【新規】	オリジナルの音楽劇で地域のお話を知って もらおう！	近江八幡 市	100,000

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金①>**2 団体/2 事業 助成決定額 200,000 円**

団体名	事業名	地域	助成決定額
びわこ木育クラブ 【新規】	拡がれ！滋賀の木育、木育の実践者向け 講習会事業	大津市	100,000
ママパスポートこうか こなん	木育！妊婦さん、ママ、赤ちゃんに木を使う 大切さを伝える	甲賀市	100,000

<びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②>**1 団体/ 1 事業 助成決定額 200,000 円**

団体名	事業名	地域	助成決定額
一般社団法人木づかいプロジェクト 【継続 6】	100 年の森づくりビジョン 東近江市・あらゆる 場面で木を使うプロジェクト	東近江市	200,000

(5) 未来ファンドおうみ運営委員会

●運営委員

- ・平岡俊一 滋賀県立大学環境科学部准教授 (委員長)
- ・大平正道 地域づくりアドバイザー
- ・南 圭子 淡海ネットワークセンター事務局長

●開催日/場所

- ・第 1 回 2024 年 7 月 11 日 淡海ネットワークセンター
- ・第 2 回 2024 年 9 月 25 日 淡海ネットワークセンター

2 寄付金受領**■受領額 4,457,113 円 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)**

寄付者名	受領日	金額	基金名
滋賀県環境整備事業協同組合 【新規】	2024.5.31	300,000 円	びわ湖の日基金
(株)いのうえ【復活】	2024.6.14	9,365 円	びわ湖の日基金
鳥居 静夫	2024.6.19	100,000 円	びわ湖の日基金
有限会社ノリアキ工房	2024.6.26	5,040 円	びわ湖の日基金
株式会社 JINEN	2024.6.28	100,000 円	びわ湖の日基金
甲西陸運株式会社	2024.7.25	100,000 円	びわ湖の日基金

株式会社たまゆら	2024.8.26	500,000 円	びわこ市民活動応援基金
びわこ総合サービス株式会社	2024.8.29	100,000 円	びわこ市民活動応援基金
(株)伊藤佑ホールディングス 【新規】	2024.9.17	100,000 円	びわこ市民活動応援基金
富田酒造(有) 【新規】	2024.9.20	10,444 円	びわ湖の日基金
株式会社 材光工務店	2024.9.24	100,000 円	びわこ市民活動応援基金
元三フード株式会社	2024.10.4	300,000 円	げんさん食育 NPO 基金
匿名	2024.10.15	450,000 円	びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金
匿名	2024.10.15	240,000 円	湖国文学活動応援むらさき基金
一般社団法人比良里山クラブ	2024.10.23	30,000 円	びわ湖の日基金
株式会社メリーゲートホールディングス (株式会社鮮魚たかぎ)	2024.11.11	200,000 円	びわ湖の日基金
株式会社口ハス長浜	2024.11.14	12,264 円	びわ湖の日基金
株式会社明和工業【新規】	2024.11.18	20,000 円	びわこ市民活動応援基金
株式会社ヨシケイ滋賀【新規】	2024.11.22	10,000 円	びわこ市民活動応援基金
株式会社中谷組【復活】	2024.11.29	300,000 円	びわ湖の日基金
株式会社タイトウトレーディング【新規】	2024.11.29	10,000 円	びわこ市民活動応援基金
積水化成品工業(株)	2024.12.16	300,000 円	積水化成品基金
近江通商(株)	2024.12.27	30,000 円	びわ湖の日基金
水上 敏彦【新規】	2025.1.6	30,000 円	びわこ市民活動応援基金
びわ湖チャリティ 100 km 歩 行大会実行委員会【増額】	2025.1.31	1,000,000 円	びわ湖の日基金
(株)向茂組【新規】	2025.3.10	100,000 円	びわこ市民活動応援基金

<写真 17~18>

■ おうみ良うなる元気商品プロジェクト

● プロジェクト参加企業

参加企業数 8 企業

● 広報

- ・ ポスターの作成
- ・ ふらっとルームでの展示
- ・ イベントへの出店

商品の紹介と販売 2024 年 12 月 8 日 市民活動フォーラム

【5】運営、総務

1 ガバナンス

(1) 評議員会の開催

① 第31回評議員会（決議の省略）

開催日 2024年4月1日（月）
議題 ・ 評議員の選任について

② 第32回評議員会

開催日 2024年6月14日（金）
議題 ・ 2023年度決算関係の承認(案)について
・ 評議員ならびに理事の選任(案)について
・ 2023年度事業報告について
・ 2023年度事業等評価について
・ 2024年度事業計画について

(1) 理事会の開催

① 第54回理事会

開催日 2024年5月22日（水）
議題 ・ 2023年度事業報告(案)について
・ 2023年度決算(案)について
・ 2023年度事業等評価(案)について
・ 役員候補者(案)について
・ 評議員会の招集(案)について
・ 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
・ 評議員候補者(案)について

② 第55回理事会

開催日 2024年6月14日（金）
議題 ・ 理事長の選定について
・ 理事長の報酬について

③ 第56回理事会

開催日 2024年12月24日(火)
議題 ・ 職務（事業）執行状況について
・ ファンドの運営状況について

- ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告について（定款第27条）

④ 第57回理事会

- 開催日 2025年3月28日(金)
- 議題
- ・2024年度収支補正予算（案）について
 - ・設立30周年事業に向けた特定費用準備資金計上(案)並びに取扱規程(案)について
 - ・淡海文化振興財団中期計画(案)について
 - ・2025年度事業計画（案）および収支予算（案）等について
 - ・就業規則の一部改正(案)について
 - ・理事長の報酬の件について
 - ・第33回評議員会(決議の省略)の招集(案)について

（３）監事監査の実施

①2023年度監事監査

- 実施日 2024年5月10日（金）
- 場所 公益財団法人淡海文化振興財団 理事長室
- 内容
- ・2023年度事業報告
 - ・監査および監査報告

（４）月次理事長報告の実施、週次事務局会議の実施

2 各種委員会等への参画

会議名	参加者
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会	櫻田
滋賀県総合企画部指定管理者選定委員会	南
滋賀県特定非営利活動法人指定委員会	南
淡海フィランソロピーネット運営委員会	南
守山市市民提案型まちづくり支援事業審査委員会	南
守山市豊かな市民活動のまち応援事業認定委員会	南
長浜市市民協働推進会議	南
近江八幡市まちづくり団体育成支援補助金審査会	南
草津市指定管理者選定評価委員会	南
滋賀県共同募金会理事会	南
社会福祉法人しがぎん福祉基金評議員会	南

滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会	原田・北川
滋賀県総合防災訓練・滋賀県災害ボランティアセンター非常体制移行・機動運営訓練	原田・北川

3 職員研修、勉強会

会議名	開催日	参加職員
滋賀県災害ボランティアセンター「令和6年能登半島地震」支援バス	2024年4月13日(土)～ 14日(日)	北川
公益法人定期提出書類の作成等に関する説明会	2024年5月9日(木)	岡田・稲葉
新人研修	2024年5月17日(金) 2024年5月24日(金)	稲葉
災害支援市民ネットワークしが 2024年度 第1回 研究会	2024年6月21日(金)	南・北川
センター職員研修(事業評価について)	2024年6月5日(水)	全員
一般社団法人 協同総合研究所 総会記念鼎談 なぜいま労働者協同組合を選ぶのか	2024年6月23日(日)	南
社会保険(算定基礎関係)説明会	2024年6月25日(火)	稲葉
これからの中間支援を考えるシンポジウム	2024年7月9日(火)	南・辻
第175回市町村職員を対象とするセミナー「地域づくりを仕事にする新しい働き方」～労働者協同組合の活用促進～	2024年7月12日(金)	北川・稲葉
ひとまちキラリ実務講座 新たな担い手獲得セミナー ～学生とともにまちづくり～	2024年8月29日(木)	辻・稲葉
オンライン NPO法人の「解散」講座 ～解散を考える前に知っておきたいこと～	2024年10月10日(木)	北川・辻
人権研修	2024年11月11日(月)	辻
「遺贈寄付」基礎講座(オンライン)	2024年11月12日(火)	辻
年末調整(定率減税・法定調書等)説明会	2024年11月19日(火)	稲葉
市民自治講座 「参画・協働」によってまちは変わったか ～市民の知恵と熟議のもと、共生の市民社会をつくる～	2024年10月26日(土) 2024年12月14日(土) 2025年2月1日(土)	横田 辻 稲葉
ワカモンスクエア～私たちが主役の場 無いなら創るだけ～	2025年1月19日(土)	辻
新公益法人会計基準に関する説明会(オンライン)	2025年2月12日(水)	稲葉・横田

協働でつくるまちづくりセミナー 「地域づくりを仕事に、自分らしく働ける労働者協同組合を知ろう」	2025 年 2 月 14 日(金)	北川
先手必勝！事例から学ぶ 「市民活動・地域活動の落とし穴」基礎編	2025 年 2 月 14 日(金)	辻
NPO 会計オンライン・セミナー	2025 年 2 月 26 日(水) 2025 年 3 月 5 日(水) 2025 年 3 月 26 日(水)	北川・稲葉 辻 稲葉・横田
孤独・孤立対策のための中間支援 3.0『ひょうごモデル』推進事業活動報告会	2025 年 3 月 12 日(水)	南・辻
中間支援組織情報交換会（大津市社会福祉協議会主催）	2025 年 3 月 14（金）	辻

4 賛助会員 （2025 年 3 月 31 日現在）

■会員数（申込み）

個人 102 名 法人・団体 15 団体

■会費計（受領）

5 1 1, 0 0 0 円